

## 11 影響力係数と感応度係数

産業全体に与える生産波及の影響が強い産業は、水道、電力・ガス・熱供給、鉱業である。また、他の産業から強い影響を受ける産業は、対事業所サービス、運輸・郵便、電力・ガス・熱供給である。

影響力係数（脚注参照）は、どの列部門に対する最終需要があったときに、産業全体に与える生産波及の影響が強いかを、また、感応度係数（脚注参照）は、各列部門にそれぞれ1単位の最終需要があったときに、どの行部門が強い影響を受けるかを示す、相対的な指標である。

37部門で産業別にみると、影響力係数は、水道（1.15）、電力・ガス・熱供給（1.13）、鉱業（1.10）などで高く、一方、不動産（0.88）、情報通信機器（0.91）などで低くなった。

感応度係数は、対事業所サービス（2.23）、運輸・郵便（1.70）、電力・ガス・熱供給（1.68）などで高く、一方、情報通信機器（0.76）、業務用機械（0.77）などで低くなった。

---

### 影響力係数

ある産業に対する需要が産業全体に与える影響の度合いを示す係数で、大きいほど産業全体に対する影響が大きい。

影響力係数 = 逆行列係数表の各列和 / 逆行列係数表の列和全体の平均値

### 感応度係数

全産業に対する新たな需要による特定の産業の感応度を示す係数で、大きいほど他産業による感応度が大きい。

感応度 = 逆行列係数表の各行和 / 逆行列係数表の行和全体の平均値

表 1 影響力係数と感応度係数

《第2象限》	影響力係数	感応度係数	《第1象限》	影響力係数	感応度係数
06 鉱業	1.104222	0.818204	16 パルプ・紙・木製品	1.040505	1.036703
11 飲食料品	1.020991	0.820574	26 鉄鋼	1.044783	1.002008
25 窯業・土石製品	1.010365	0.860736	27 非鉄金属	1.074711	1.032226
32 電子部品	1.000956	0.979628	46 電力・ガス・熱供給	1.125178	1.678950
41 建設	1.005278	0.984586	57 運輸・郵便	1.001671	1.699129
47 水道	1.152182	0.884433	59 情報通信	1.056617	1.362219
48 廃棄物処理	1.004208	0.959057			
67 対個人サービス	1.018326	0.800216			
《第3象限》	影響力係数	感応度係数	《第4象限》	影響力係数	感応度係数
01 農林漁業	0.976471	0.930175	51 商業	0.956553	1.647940
15 繊維製品	0.952480	0.797900	53 金融・保険	0.983910	1.293645
20 化学製品	0.971717	0.918121	66 対事業所サービス	0.934923	2.228187
21 石油・石炭製品	0.944841	0.793169			
22 プラスチック・ゴム製品	0.941901	0.831424			
28 金属製品	0.980356	0.887982			
29 はん用機械	0.982188	0.817239			
30 生産用機械	0.963875	0.809308			
31 業務用機械	0.983533	0.765501			
33 電気機械	0.949075	0.776237			
34 情報通信機器	0.913554	0.760202			
35 輸送機械	0.913815	0.798251			
39 その他の製造工業製品	0.942243	0.937374			
55 不動産	0.876744	0.983965			
61 公務	0.983436	0.994063			
63 教育・研究	0.921923	0.771913			
64 医療・福祉	0.943287	0.778650			
65 他に分類されない会員制団体	0.990640	0.806639			

注：37部門逆行行列係数表（開放型）による

